

VA

ふたり  
未知<sup>し</sup>らぬ  
雲<sup>み</sup>にのる



うろこぐもにだいだいの夕陽に下津井の漁村。バクダンみたいで重そうでよいしょと持ちあげたらひょんと持ちあがってこれ浮きなんだって……。

「ぼく幼稚園?」「うん」線路をつたって歩いてきたぼうや線路をつたって歩いていった。



# KURASHIKI



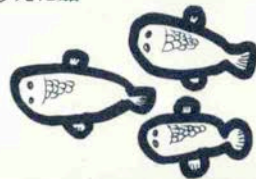
あこがれの倉敷の白い土壁によりかかってロマンチックな時を過したら背中がまっ白になってしまったのだ。



倉敷で大原美術館と並んで有名なのが“EL GRECO”というカフェショップ。冷房のない室は自然の風がさわやかです。



ちいさなちいさなざ波と大きな大きなうねった波と重なって重なってずうーと続いていて、まるで大きな布のうえに船が浮んでいるみたい。



# YOSHIIGAWA

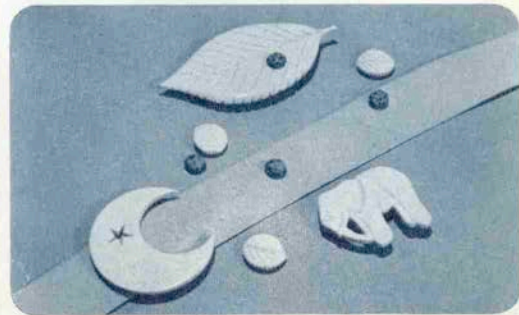
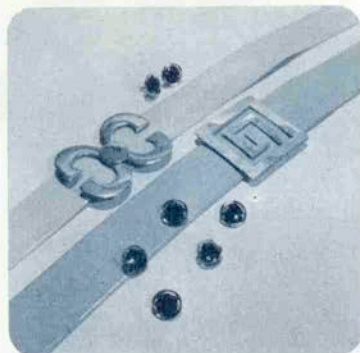




海を見ていた花嫁は  
素足で愛の波に乗る。

アダムとイブの禁断の実はアップル  
だったけど、紅色のベルトとブーケ  
のペア、ボタンとイヤリング、指輪  
のペア、何だってペアなら歓迎です

ドレス/三 愛 白いブーケ/ドンタ



サイトウヒロシのオリジナルボタンの店

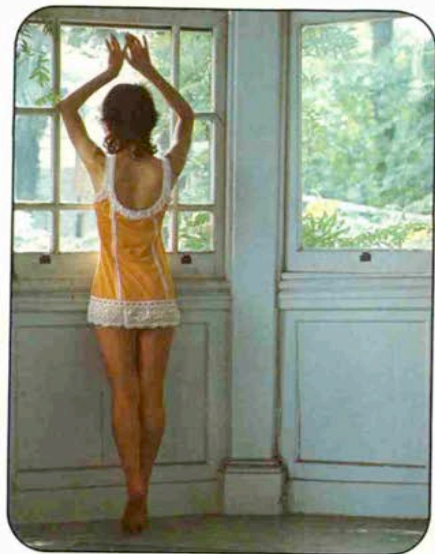
ファニー

さんプラザ3 FTEL 391-0084

*Le premier  
Matin pour deux*



ヘビードール/エスター・ニュートン



スリッパ・ヘビードール/ヤマトヤシヨフ



オートクチュール

ウインザー

さんプラザ2F TEL 331 7952

あす御衣衣類上処

神戸シャツ

神戸大丸前 TEL 331 2168

樹木と雲と川の流れと

未知らぬ街の風景を

はぎっていく 男と女

生まれたばかりの優しい物語り作者

ウインザー / サンザウエー ネグタイ(元町)ハサニー 倉敷・倉崎記念館にて



オートクチュール

CASSETTE

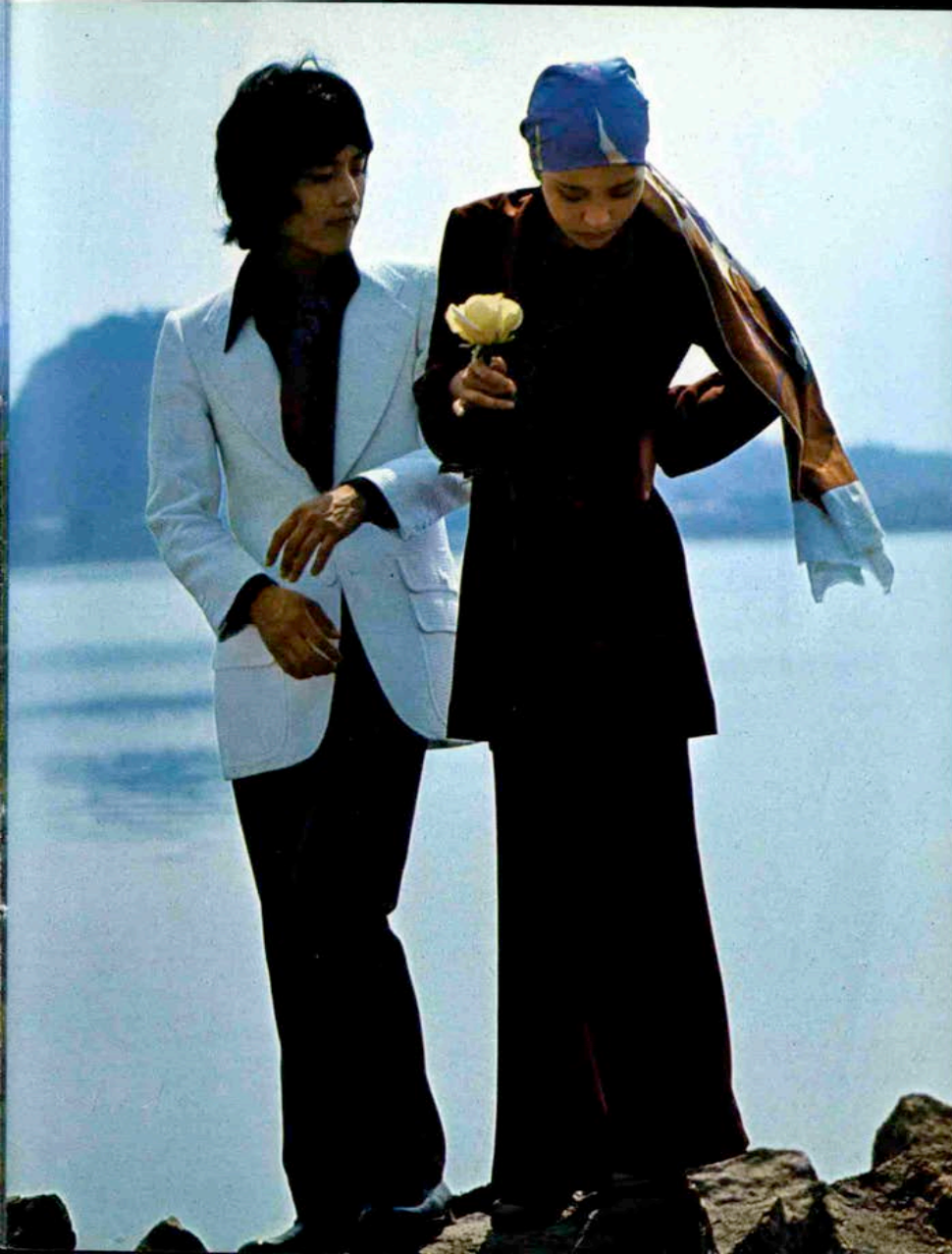
神戸大丸前 TEL 391-4992

婦人靴専門店

ミョウア・ナ

さんプラザ1F TEL 391-5078





ふたりの透明な幸せは

まだ遠い旅路にあるのだけれど

陽も明日をめぐる 早い朝

川に小舟を出しましょう

幾重にも幾重にも重なりあう

波のしエスを滑ぎながら

決して急いではありません



婦人服飾  
KOBÉ

**ベニヤ**

三宮センター街TEL 391-5528

フレスコ・サンサカエ スカ フォタ・ニュー・マン

岡山・吉井川河口にて





LE  
FIN

岡山・下津井にて ブラウス/チカス・ド・アルフィ





# HOOK フック 東店

神戸市生田区栄町1-5-3 TEL(078) 321-3207~8



和風スナック

中山手通2丁目75

七 福

伊藤ビル地階

TEL. 321-1425

KOBE GUIDE

SNACK RESTAURANT

# AonE

元町3丁目97

TEL (331) 0320



DRINK & SNACK  
スネカジリ子

中山手通2丁目13

永晃ビル地下

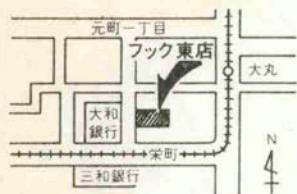
TEL 391-8708



★さわやかな 初秋の風が夏の 暑さで疲れきった神戸の町に 息吹きを与え、活気を取りもどす。

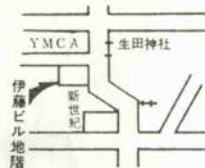
潮風の近い“フック東店”は、神戸らしい、食べる人の身になったインテリアとサービスで神戸ステーキが味わえると定評のあるレストラン。オフィス街や港に近いせいもあって、食事時にはサラリーマンや外人客で賑わいを増す。ステーキの他にスイスのフォンデュもあり落ち着いたムードの中でマンズワインのグラスを傾けながら食べる料理の味はここならではのもの。お友達と、あるいはご家族連れで、お気軽にフックの味覚をお楽しみ下さい。

営業時間A.M.10:00から24:00まで。



## フック東店

## 七 福



★暑い夏が過ぎ、さわやかな初秋の訪れとともに日本料理が恋しくなるのは、食欲の秋、のせいだろうか。

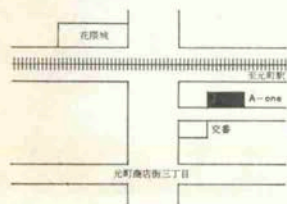
生田神社西側、伊藤ビル地階の和風スナック“七福”はお客の好みに応じた日本料理を何でもとりそろえ、新鮮な味覚を満喫させてくれる。日本情緒豊かな店内には涼しそうな生簀も置かれ、着物姿の美しい女性のきめ細やかなサービスも嬉しい。季節によって味覚の異なるバラエティに豊んだ日本料理は七福ならではのものが、暑い時には特に鯛や海老の活造りが喜ばれている。前もってお座敷の予約もできるので小グループでも楽しめます。

P.M.5:00～A.M.1:00 年中無休。

## KOBE GUIDE

## エーワン

## スネカジリッ子



★元町三丁目の角、ポートタワーの見える道を山側に上り、最初の道を右に入るとすぐの所に目につくのがおなじみの レストラン・スナック “A-One” だ。長い間、神戸の素適なレストランの1つとして人気があるが、昨年暮店内をレストラン・スナックとして改装し、A.M.11:00～P.M.3:00まではレストランとして、P.M.5:30～A.M.1:00の間はスナックとして開いている。店内はレンガのアーチといろいろなランプで趣向をこらし、ロマンチックな雰囲気にあふれている。若い人からお年寄りまでごひきのお客様も多く、東京から足を運んでこられるファンもある。予約のできる小部屋もあるのでグループでも気楽に食事を楽しめる。

レストランA.M.11:00～P.M.3:00 ランチ400円、Bランチ300円、スナックタイムP.M.5:30～A.M.1:00 ビール200円 フィズ各種300円 第1、第3日曜日休み



★九月の残照が強い力で神戸の街に照りつける。生田新道、相互タクシ一向いの“スネカジリッ子”には真黒に日焼けした神戸っ子たちが夏の想い出をひめて集ってくる。ここで交される会話が飲む人の心をつなぎ共通的想い出を形づくる。井上則吉君をはじめ、若くてダンディなバーテンさん達は昼間は学校に通い夜はここで働くがんばり者。カウンターの他にこじんまりとしたボックス席もあるのでグループでも気軽におしゃべりを楽しめる。一度足をはこぶとすっかり魅了されてしまう素適な店、と若い人からご年配の方までファンも多い。

水割G&G ¥300、ビール (小) ¥200、おつまみ ¥100  
ピッツア ¥350、ミニチュアピン (W) ¥500  
P.M.5:30～A.M.1:00 第1、第3日曜日休み。



# MAKE UP すばらしいあなたに... WITH ROYAL

'71から'72へかけてのサングラス品揃へ  
国産も舶来も絶対豊富に.....



めがねの御用命はお気軽に神戸眼鏡院で御相談ください

★自動車にてご来店のお方は駐車券進呈!

元町店=神戸市立花隈駐車場

さんちか店=神戸市立三宮駐車場

 **神戸眼鏡院**

元町店・元町3丁目 ☎321-1212代表

三宮店・さんちかタウン ☎391-1874~5

*Happy Wedding*



北欧の銘菓

**ユーハイム・コンフェクト**

■本社・工場 神戸市真谷区熊内町1 (市立美術館東隣)

TEL 221-1164

■三宮センター店 神戸三宮センター街 (洋菓子・喫茶・レストラン)

TEL 331-2421

■さんちか店 神戸三宮地下街スイーツタウン

TEL 391-3558

# The Motomachi Story

● 対談 100年を迎える

## 元町物語

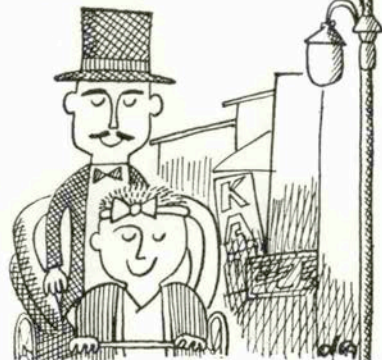
■ 出席者

飛田昌久

〈啓明女学院々長〉

荒尾親成

〈元南蛮美術館々長〉



鑑集部 エキゾティック・コウベ  
の発祥のストリート、元町が、百  
年を迎えました。モダン神戸を生  
んだ店々、元町に生きた人々のエ  
ピソードから、元町の生きた歴史  
をふりかえってみたいと思います。

### ★神戸港開港に生まれた

#### 中国人街からの発展

神戸港が開港したのは、今から百三  
年前、慶応三年十二月七日、西暦一八  
六八年の正月元旦。明治元年当時の人  
口は、元町通り、西国街道の周辺に三  
千七百人、戸数にして九百戸。兵庫の  
街には二万人、戸数にして五千戸だっ  
た。住人は船大工、半農半漁家、造り  
酒屋などが多かった。慶応四年に出た  
開港絵図によると、西国街道、元町で  
は一丁目から六丁目まで十の町名が記  
され、東には東町、市場町、城下町、  
西には西町などがあつた。ところがこ  
の東のソデに外人居留地が置かれ、貿  
易も盛んになり、ゲンのいい名前とい  
うことと元の町を残そうというので元  
町という通りと、南の方にもっと大き  
な通りとして栄える意味も込めて、栄  
町と名付けた。

荒尾 明治元年、神戸港の東の袖  
に外人居留地ができました。鯉川  
が西の境、生田川が東の境で、「居  
留地八万坪」といいますが、入っ  
たのはヨーロッパ人ばかり、中国  
人は入れませんでした。そのため  
伊藤博文に頼んで、居留地を宇治  
川まで拡げもらったのです。待  
ってましたばかりに、華僑がず  
ーっと入居しました。作家の陳舜  
臣のおじいさんも海産物問屋とし





飛田昌久氏

るのではなく、発展させる要素を東西南北に控えさせていたといえますね。

**編集部** 南京街ができたのはいつ頃ですか。

**荒尾** 割方早く、花隈より先でした。今とは全然違い、まるで支那へ行ったような雰囲気でしたからね。その時分は男はべん髪、女は纏足。明治四十一年に孫文がべん髪、纏足を禁止したが、大正十年位までこの因習は続いてましたね。大概の家にべん髪した少年がいて「反物いらんか」といって売り歩いていましたね。

**飛田** 孫文が人力車に乗って、京町を通りましたね。

**荒尾** 孫文は大正十三年十一月に、県立第一高女で講演会をしましたね。私、行きました。

**飛田** 中国との貿易が盛んだったのですよ。

#### ★中尾ヤタがヤタナカオに

**編集部** 当時の街で印象に残っておられることはどんなことですか

**飛田** 元町の入口から三越まで元町で、今のような元町は昔の良さはあまりありません。組立の家のような味気ないものですね。

**荒尾** 昔は、漆喰格子の本建築の家がずらっと並んでいました。

**飛田** ほとんど戦災で焼けました

す。街の発展は交通機関と密接な

関係にあるわけです。ことに元町三丁目には中棧橋があり、内海航路のポイントでしたからね。

**編集部** 中棧橋というのは、今の中突堤のことですか。

**荒尾** 明治初年に開港した時、一番の本拠が今の税関と宇治川尻でその真中にできたので、中棧橋といたのです。後で突堤になってから中突堤と名称が変わりました

神戸は五港の一にして  
集まる船の数多く

瀬戸内帰りの混りたり

という歌がありました。瀬戸内海発着船の専用が中棧橋にあったのです。この付近は有名な当時の旅館に畠中旅館、西村旅館、後藤旅館なども並んでいました。このように元町は元町だけでできてい

て入りましたね。華僑は商売上手だから、貿易も盛んになり繁盛しました。ところが、日本の風習で女性を連れて来ることを許さなかったのです。長崎もそうでしたがね。従って、独身で来た中国人に金ができたら、日本の花柳界の女性が集まりました。それで、二号にして住まわしておく場所を花隈にしました。その時分は葉種畑でしたけれど、街にしたのです。そして、マーケットとして南京街を作りました。

こうして、中国人の元町、二号さんの花隈、東の袖には外人居留地、南には南京街、加えて神戸駅に今の元町駅（当時の三宮駅）と交通機関を押さえて発展したのです。戦後になると、センター街が阪神と阪急を足に押さえていま



荒尾親成氏

が、安田銀行が残っていましたね  
荒尾 頭に残る立派な店を東の端  
からいっていきますと、元町入口  
の北側に、田中儀一商店、元町のネ  
ル屋実業銀行、肉屋、川瀬日進堂、  
明治屋、牧田毛皮屋、井上足袋屋、  
市田写真館、美田時計店、高砂  
屋、高橋の鞆屋、林小竹堂、播新  
骨董、榮屋、備前岡山藩の菩提寺  
善照寺、カイト糸屋、風月堂、放  
香堂茶屋、柴田音吉商店、四丁目  
に交番、木下勢三のガス器具店屋。  
セイモン払いで年の瀬にはそこで  
ガス焼をした。赤壁と安井カメ  
ラ、五丁目に入って宝文館、ヤタ  
ナカオ、大和屋のシャツ、江戸時  
代からのタンバ洋品店、亀井堂、  
三星堂、玩具屋の清島、というこ  
ろが印象に残っています。

編集部 周辺で古い所といいます

と？

荒尾 古くは光村、岩佐竹之助商  
店、鈴木商店、朝日新聞、神戸新  
聞、時事新報、読売新聞が三越の  
一角にありました。それから今の  
三菱銀行西町支店の建物は古く、  
明治三十年頃のもので、当時、か  
なり立派なものでした。その隣に  
自由亭ホテルがあり、後に鈴木商  
店に買われて焼打ちに会いました  
がね。

飛田 当時の三宮駅は、坪内駒平  
理髪店を上った土堤の上にあっ  
て、みすばらしいものでした。

荒尾 明治調の駅で、高台にある  
ため金の手摺がついた階段を上る  
のです。その南側に名物の店があ  
りましたね。古本屋が五軒位あり  
山重蒲鉾屋があって、浦島太郎が  
蒲鉾にされて亀に乗っている看板

が上っていました。そのほか小西  
ゼリーボンボン、清水の医者が印  
象にあります。

飛田 お医者さんでは藤井歯科、  
磯田耳鼻科ですか。

荒尾 元町通りに澄川歯科があっ  
て、男前の先生やから、いつも待  
合室は花隈の芸者でいっぱい。金  
歯を入れるのが上手でしたよ。

変わったところでは、売れるの  
か売れんのか知りませんが、明治  
時代の古めかしいカンカンが置い  
てあるだけの今井善兵衛度量衡店  
があって「あれでよう立っていく  
な」というような店でした。

飛田 中尾ヤタという名前の人が  
いて、外国読みに「ヤタナカオ」  
として、店名にしましたね。舶来  
品を置いた有名な店です。

荒尾 その隣に、キリン屋という  
ネクタイ屋がありました。昭和二  
年頃、ラジオが流行った頃、三笠  
ラジオ店がよく繁盛しました。  
飛田 多聞通りにシバニ商店があ  
りました。

荒尾 主人は今、会下山にいらっ  
しゃいますよ。

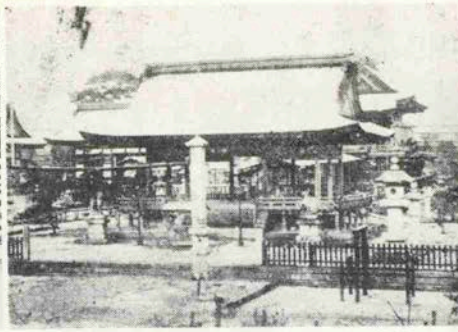
飛田 石けんがどこよりも安い、  
よく売れて後にデパートにしまし  
た。

荒尾 石けんのシバニ、ラジオの  
三笠、ネクタイのキリン屋、シャ  
ツの大和屋と決まっていたもので  
す。





明治15年頃、吉川市助商店（今の風月堂）



明治10年頃の浅川神社（明治5年創建）元町通りは楠公さんへ参る道が発展したものらしい。



明治4・5年頃の元町通り

飛田 大丸デパートも昔は元町三丁目にありました。デパートは三越の方が草分け、三越は損をしています。商法が下手なのかな。

荒尾 三越の近くに、明治初年には月下亭という牛肉のスキヤキ屋があったが、その後建ったのが大井肉店です。

飛田 鳥音が相生橋にありました  
荒尾 元町五丁目南に、二階建日本家屋で猪を食べさせる店がありました。それから「八百重」で河豚を食べさせていました。元町二丁目南の日乃出食堂は学生の間に人気がありました

### ★長州藩士を隠まっ て繁盛した宿屋

編集部 元町の人物史を語って下さい。

荒尾 元町四丁目に江戸時代から続いた宿屋「鉄屋」に専崎弥五平という人がいて、市会議員から助役になったが、なかなかの人物でした。長州藩士の伊藤博文、高杉晋作、久坂玄瑞が逃げて来たのを「鉄屋」に隠まった。その恩を忘れずに博文は何かと面倒を見たために「鉄屋」は大もうけして、今の三越の下に大きな屋敷を構え、そこへ明治天皇をお泊めした。それが未だに残る「明治天皇御駐蹕の跡」です。その二代目弥五平は

伊藤博文の御落胤といわれた大人しい人でしたが、市会議員から鹿島房次郎市長の折りの助役になりました。

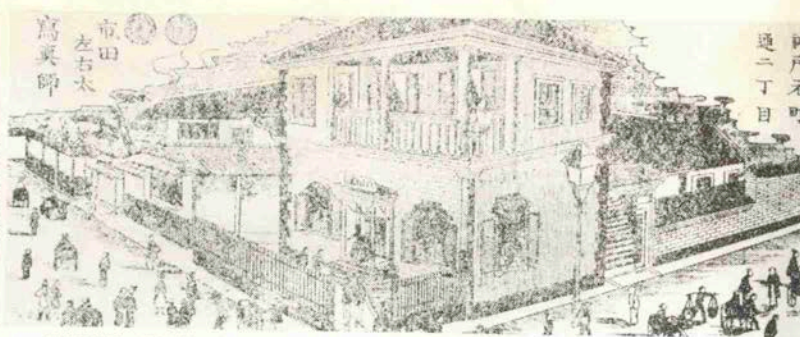
明治十年に西南戦争が起こりましたが、官軍の輸送基地が神戸でした。三越の南が兵隊基地だったここでもうけたのが、三菱になった岩崎弥太郎と光村弥兵衛でした。それから大正七年八月、米騒動の時、鈴木商店と共に焼打ちにあった岩佐竹之助の店は元町三丁目、今の馬券売場の南側にありました。この人は諏訪山の下に岩佐御殿を作って、英国のプリンス・オブ・ウェルズが大正十年に来日した時、岩佐御殿に泊られました。このような実業で名を成した人が、元町通り南、栄町側に軒を並べていました。

編集部 文化系の人物ではどんな方がおられましたか。

荒尾 菊田一夫が元町五丁目の珍物屋にいました。加美の素の山敷さんは五丁目にあった薬屋に奉公していたということです。琵琶湖のほとりから出てきて元町を通っていたら「ボンさんいます」と書いてある店に入ったのが薬屋でした。商売上手な男だから、外国から入ってきた紙白粉に目をつけて商売をやりました。山敷神港堂として一本立ちしてカミックスという水虫の薬を売り出したり



明治15年頃の靴屋さん



明治15年頃、元町通りの市田写真館

しました。それが加美の素に発展したのです。元町から出た出世頭はこの二人でしょう。

飛田 私元町とのつきあいは、明治四十年頃からですか。当時はヤタナカオ、明治屋、お座敷料理の三輪、今のじゃない昔のね。それから安田銀行、その横に狭い理髪店があって、坪内駒平がいた。そういえば、あの辺りから市会議員が沢山出ました。近藤建一、木下勢造、清島甚吉、西本茂吉、それに有吉忠一知事が書生の頃にいたかな。

#### ★野球の選手なら

ただで食べさせるオムレツ屋

ヤオジユウという料理屋があった跡に「ビーハイブ」ができたが、「ビーハイブ」は三越の受け渡し係長をしていた高山一良が津島の士族の娘であった奥さんと一緒にやり始めたものです。洋食屋なのですが元町の目抜き通りで、方々から迫害されて、何の理由もなく警察へ引っぱられるなど、商売がやれなくなるまで迫害されたけれど、頑張って「ビーハイブ」を盛んにしましたね。思いきり仕事をした人です

名物店としては、果物屋でオムレツを食べさせる「今尾」という店がありました。大正十年頃だっ

たかな、お親父さんがまた名物男で、野球が好きなので、野球の選手ならただで食べさせていました。二出川選手もよく来ていました。店の入口にメモが書いてあって、いちげんの客でもそれに住所氏名をサインすれば、ついで食べさせる。貸し倒れもあったけど、ものすごく良く流行っていました。オムレツもすごくおいしかった。ちょっと遅れてでてきたのが、この北側に、川瀬日進堂、その北を入ったところに伊藤グリル。編集部 伊藤グリルは昔からあったのですね。

飛田 昔の元町の方が神戸の味がありました。今の味は文化住宅と同じです。

荒尾 東京の銀座、大阪の道頓堀神戸の元町といえは、品の良い街でした。その中でも元町は文明開化の玄関口、非常にモダンな街として、特徴がありました。薬屋でも元町に早く出来た西村蘭更堂、三星堂ができたのは明治三十一年蘭更堂のお孫さんが画家の西村元三郎さんです。

ところで江戸時代からの有名な実業家で、今井善兵衛という度量衡屋があった。その息子で、四十歳になっても独身の名物男がいた飛田先生が神戸市連合青年団の理事をしておられる時、今井善兵衛も理事をしていました。そんな折





明治40年頃の元町通り



明治30年頃の元町通り



明治15年頃元町5丁目、西洋小物のタンバ商店

その息子を遊廓に連れていったら、どんな顔しよるかみてやろうと、おもしろ半分は福原へ連れていって、おまけに仲間の金を払わせたことがありました。私はゴンタやつたね。(笑)

**編集部** そのほか人間的な事件はありませんでしたか。

**荒尾** 四代目市長の鹿島房次郎さんに後追い心中した花隈の歌代さんという芸者がいましたね。鹿島さんの二号でしたが、大工さんのところへ、鹿島さんが親代りになって嫁入りしました。二年程して、姑との折り合いが悪くて帰って来て、元どおり鹿島さんの二号になった人です。旦那の四十九日の日に、仏壇の前で、足をきちんとくくり、カミソリで喉を切って死んだらしい。花隈の美談ですが湯沢三千男さんが随筆の中で書いています。

湯沢さんは、非常に粹なおもしろい人でしたね。昭和十年頃の知事で、後に内務大臣をした人ですが、元県知事の金井元彦さんを連れてきたのもこの人です。神戸新聞の下に「生一本」という店がありますが、あそこママさんが現役の芸者だった頃、湯沢さんが肩入れて、神戸新聞のお偉方や名士連に株を持たせて出させて作った店ですわ。

そんな折り、阪本勝元知事が副

知事を推選してほしいと湯沢さんに頼んだところ、金井さんを推選したといういきさつがあります。このように政界にも勢力があった一面、花柳界の裏話にも通じていましたね。愉快な人でした。

#### ★昭和初期の美人投票異聞

**編集部** 元町の美女は如何ですか  
**荒尾** 元町小町はいまありませんね。しかし魚庄、今の協和ビルの上田進三郎のお母さんがきれいでした。今年八十八歳になられますが、若い時の写真を見せてもらったら、ほんとうにきれいな、あそこは皆美人党ですわ。

**飛田** 宝塚歌劇の女の子がよく元町へ来てましたね。

**荒尾** 若き日の初音礼子がよう歩いていました。坂のある街の商店街は坂の上の方へ作っては駄目ですね。やはり下って買物に来やすい。元町の上には、県立第一高女、親和、松蔭などがあって、女学生が買物にきました。それがまた一つの景物になりました。

昭和二・三年頃、神戸新聞と又新日報が対抗して、美人投票をしました。その中で、元町から出たのが、「ウーロン」という喫茶店の飯沼トシ子という美人でした。それから市会議員の西川プロペラ翁の娘——プロペラというののはプ



大正14・15年頃、すずらん灯のならぶ元町通り  
(すずらん灯は13年にできた)



大正14・15年頃、今も残る林小竹堂(美術品商)



明治40年頃の元町通り東側。三宮神社と山に  
伸びているのがアロード。

ロベラのように舌がよく廻って弁  
が立つ、しゃべり出すと止まら  
ん、何処へ行っても一言なかるべ  
からずの男の娘で、西川さん正子  
が美人投票に立候補しました。市  
会議員が下町の中へ入るとは何事  
かと書く者もいるし、美人だから  
仕方がないと書く者もいる。中  
にはそんなことを書いてよせへ売ろ  
うとしている不良少女の一味やと  
書いた者もいました。それに対し  
て父親がカンカンに怒って、名誉  
毀損で告訴しました。その時、万  
才の砂川捨丸の相手方、春代も立  
候補してましたね。

#### ★粒よりの店が揃う元町を 大切にしたい

編集部 では元町の流行った理由  
はどういうものでしょうか。

飛田 良い店が集まっています  
からね。由緒と權威を持っていま  
した。今はどこも同じような格好  
になりましたとおもしろくありませ  
んね。

荒尾 映画館は今どこにでもあ  
りますが、昔は映画は新開地、買  
物は元町、それも高級品ですね。  
安物は小野の中道筋とか場末にあ  
りました。元町はそれほど權威  
を誇っていたものです。

飛田 やはり戦災が大打撃だった  
のでしょうね。

荒尾 戦後は物がありませんでし  
たからね。やはり食べ物にとびつ  
いたのが闇市です。次に衣服。住  
まいと生活が良くなるに従って、  
元町が元へ戻らないかんのに、ど  
さくさくしてきた、元町と中道通り  
の渡り廊下だったセンター街が繁  
盛してきました。昔からの家柄を  
誇ってきた元町は、急に何んでも  
かんでもするというわけにはいき  
ません。飛田先生が住んでおられ  
る熊内町は一流の住宅街でした  
が、今は人が戻ってきません。そ  
こに住んでいた人はもう資力がな  
いからよう立ち上げません。それ  
と同じで元町も戻ってくる人が少  
い。何故なら悪いことをようしな  
いからです。

けれども戦後二十六年、復興し  
つつあります。一丁目から三丁目  
まではやや復興したと思います。  
五・六丁目が立ち遅れですね。交  
通機関の関係でしょう。

飛田 しかし今でも元町に匹敵す  
る街はないでしょう。昔は流行る  
だけの理由、商品のオリジナル性  
があつたわけです。今はそれが難  
しくなりましたが、粒よりの店が  
揃うということがこれからも大事  
ですね。

△お可川にて 文責／編集部▽  
カット／丘あつし

写真・版面は荒尾親成氏提供による。版面は  
明治十五年出版のPR誌、兵庫神戸の豪商  
「港の魁(さきがけ)」から。



## 「美術傘の会」

★神戸の洋画家の歴史づくりを  
中西勝さんの提唱により、神戸  
の洋画家を中心にした美術の歴史  
を明確にしようと、朝倉斬道さん  
別車博資さん、江田誠郎さんなど  
の録音が続けられています。

今回は、水墨画の水越松南さん  
の録音予定。

また、映画は、小磯良平画伯の  
回顧展のパーティでのサツエイを



すませ、次は別車博資さんの映画  
をとる予定。

以上のような形態を続けて、神  
戸洋画家史を元町画廊から発行し  
ようというもの。次回からの録音  
時には傘の会の会員も共に聴こう  
と企画されている。

### ★神戸名士珍品展

神戸の名士がそれぞれ蒐集して  
いる珍品を一同に集め、生田神社  
のえびら会館において十月に開催

しようとしている。のみの市より  
も「蚊の市」としてはどうかとい  
う案がでているがさてのみになる  
か蚊になるか。

### ★心理的に見た児童画展

子供たちの生活と成長を児童画  
から心理学的に見てみようという  
児童画展が、神戸ナショナルシ  
ョールームのギャラリーで、七月一  
日と二十日まで、傘の会児童画研  
究会（中西勝、田中一郎、小西保  
文、久国隆久、樽谷慶造、三沢冷  
爾さん）によって開かれた。

「ミス・ショウは幼児の絵を色の  
作文と名付け、故宮武辰夫氏は幼  
児の絵は生活の記録であると呼  
び、コックルは絵は子供の心を視  
く眼鏡だと名句を残すなど先覚者  
たちは、美術教育に心理学的視野  
を開いて来ました。特にアルシウ  
ラー・ハトウィックの「絵画とバ  
ーソナリティ」のレポートは、子  
供の心理と色彩との関係に貴重な  
手がかりを与えましたが、色や形  
やストロークの因果関係が十分解  
明されず新しい視点からの追求が  
待たれていました。その先べん  
をつけたのが日本児童画研究会主  
宰の浅利篤氏で、私たちもその研  
究に敬意をはらう」とのべて、児  
童画の発表展を行った。

### ★阪本勝・中西勝二人展

えびら会館で九月上旬より書画  
展が開かれる。

## 「傘の会」とは

この会は、文化の諸分野で活躍  
している者の自由な交流と提携を  
通じて、技術時代に生活する人々  
のあいだに人間としての主体的な  
自覚をたかめ、会員の相互の研鑽  
をはかるとともに、地域の文化の  
向上に直接に寄与することを目的  
とするものです。

「傘の会」事業計画。これは実行  
可能なものから逐次計画して実行  
しようというもの。

### ★こども傘の会／児童絵画教室、

児童劇研究会、ちびっ子広場、ちび  
っ子天国などの児童用施設美化。

★傘の市／古書、古道具などのセ  
リ市、のみの市、バザーなど。

★傘の窓／各種の相談あつせん頭  
脳センターの設置、集合場提供。

★傘の壁／保存すべき大衆演芸、  
アングラ演劇、詩の朗読会など。

★おはなし傘の会／文学講座、美  
術講座、詩の鑑賞会など。

★愛の傘の会／身体障害者の福利  
の手助け。殺風景な場所を子供の  
絵でなごやかにするなど。

その他「映画傘の会」「音楽傘  
の会」「美術傘の会」「走の傘の会  
」など続々企画されています。

### ★ご入会ご希望の方は

傘の会本部／神戸市兵庫区西柳原  
町104 ★月刊神戸っ子編集部TEL  
(21)7037 (21)8072迄  
★月会費は一〇〇〇円です。

幸せな二人の  
縁を結ぶ  
結納儀式用品



結納儀式用品

遠藤福寿堂

神戸大丸 姫路やまとやしき  
そごう神戸店 姫路山陽百貨店  
東店 トア・ロード那須2階 TEL(391)1871~3  
西店 長田区市バス菅原東入 TEL(575)2251~3



呉井陳蔵

みよーや

神戸店 大丸  
電話神戸(31321)三四八番(代)  
大阪店 阪神百貨店三階  
電話大阪(345)九五八四番  
姫路店 やまとやしき百貨店四階  
電話 姫路 ②③ 一二三二番

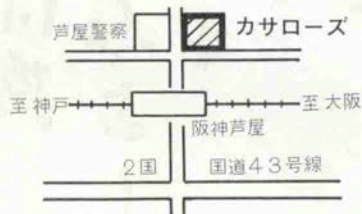


# 薔薇の館の 華麗なる幕開き

薔薇の館〈カサローズ〉はみなさまの  
広間です。忘れぬ思い出を創り楽し  
い未来を夢見られますように

## ●MENU●

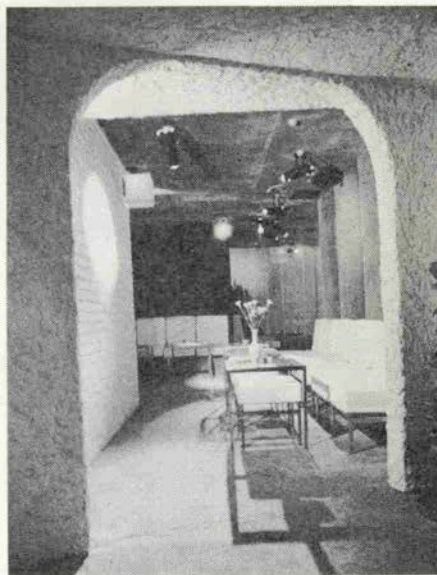
サントリーオールド	¥ 300
フィールズ類	¥ 300
ビール	¥ 250
コーラ	¥ 200
ピッツァ各種	¥ 400
チーズクラッカー	¥ 200



CASA

ROSE

ASHIYA  
31-2710



4 : 00 P.M. ~ 12 : 00 P.M.